

# 所報

題字:武田満之校長(平成9年、野幌中学校)  
第148号 令和元年 8月29日

## 江別市教育研究所所報

江別市高砂町24-6 Tel 381-1058

(主な内容)

・江別市教職員夏期セミナー実施報告

## 夏期セミナー実施報告

今年度の江別市教職員夏期セミナーは、7月29日(月)から8月1日(木)までの4日間に8講座を実施いたしました。全参加人数は470名。内容面の評価では「大変良い」と「良い」は全体の約94%でした。



主催者挨拶をする月田教育長

講座①の「今日的な教育課題」では、北海道立教育研究所の田中幹也研究主幹がカリキュラム・マネジメントと働き方改革を取り上げて講義しました。グループワークを多用したことで他校の取組などを参考にすることができ、参加者には好評でした。

講座②の「特別支援教育」では、札幌医科大学の仙石泰仁教授が作業療法の視点から講義しました。115名が参加し、特別支援の必要な子どもたちの感覚や見え方の大きな違いなどの理解を深めました。

講座③の「アイヌ民族の歴史と文化」では、北海道博物館の小川正人アイヌ民族文化研究センター長の講義後、実際に博物館の展示を見学しました。展示の考え方を理解した上での見学は好評でした。

講座④の「タグラグビー」では、中央小学校の米永先生と第一小学校の宍戸先生の味のあるやりとりと説明の後、タグラグビーの実技を行いました。「猛暑でも体を動かしたい」運動好きの先生たちは、試合を重ねる度にどんどん上達し感服しました。



作業療法の視点から説明する札幌医大の仙石教授



北海道立教育研究所の田中研究主幹



暑さを全く気にする素振りも見せない猛者たち



中央小の米永先生(右)と江別第一小の宍戸先生(左)

ビブリオバトルを実践発表する大麻東中の浜崎先生



ビブリオバトルを紹介する室工大の須藤教授



講座⑤の「ビブリオバトル」では、道教委の西島主査が読書の推進について冒頭説明し、大麻東中学校の浜崎先生が実践発表しました。続いて室蘭工業大学の須藤教授がビブリオバトルの方法や特長などを説明。その後、参加者はグループに分かれ、持参したお気に入りの本を基にビブリオバトルを体験しました。本に対する熱い思いが火花を散らし盛り上がりました。

講座⑥の「情報モラル教育」では、江戸川大学の玉田教授が情報モラル問題解決力を育てるために、80コマのスライドを基に明朗快活に講義しました。この講座は「道民フォーラム」を兼ねており、保護者の参加もありました。



明るく講義する江戸川大学の玉田教授

講座⑦の「プログラミング教育」では、さくらインターネット株式会社の朝倉さんがコンピュータを使わないプログラミング的思考への導き方について分かりやすく講義しました。後半は中央小学校の山本教頭が石狩市での取組などを基に、プログラミング教育の考え方などを簡潔明瞭に説明しました。



学校支援の分野で活動する「さくらインターネット」の朝倉氏

簡潔に説明する中央小の山本教頭先生

講座⑧の「フィールドワーク市内巡り」では、ヤンマーアグリソリューションセンター、屯田資料館、EBRI、北海道林木育種場を見学しました。普段、なかなか見ることのできない施設に参加者は興味津々でした。



巨大なトラクターに乗り込む参加者



野幌若葉小の奥にある北海道林木育種場旧庁舎